

平成29年度

# 長崎県学力調査

## 小学校第5学年 国語

### 注意

- 1 先生の合図があるまで、中を開かないでください。
- 2 問題は、1ページから10ページまであります。
- 3 答えは、すべて解答用紙に書きま<sup>かい</sup>しょう。
- 4 印刷がはっきりしなくて読めない場合は、静かに手をあげてください。ただし、問題の内容に関する質問には答えられません。
- 5 解答時間は、40分間です。すべての問題にチャレンジできるよう時間配分を考えながらといてください。
- 6 解答用紙には、「組」、「番号」、「名前」を書く所があります。まちがいのないよう書きましよう。
- 7 解答用紙の「補助票」には、何も記入しないでください。

五年生の内田さんのクラスでは、「学級園に植えたへちまの水やりをだれが担当するの<sup>たんとう</sup>か」という議題について、話し合  
いを行っています。学級会での話し合いの様子を読んで、あとの問いに答えましょう。

① 司会 (内田) 今日議題は、「学級園に植えたへちまの水やりをだれが担当するの<sup>ア</sup>か」です。意見がある人は発表してください。

② 中村 わたしは、メダカのお世話をしている生き物係が水やりをしたほうがいいと思います。そのわけは、へちまもメダカも同  
じ生き物なので、生き物係が水やりをするの<sup>ア</sup>がいいと思います。

③ 太田 ぼくは、中村さんの意見に反対です。みなさん、生き物係がメダカの水そうをそうじしている様子を見たことがあり  
ますか。A ぼくはその様子を見たことがあります。メダカを別の入れ物に入れかえて水そうの水を全部取りかえるのは、  
とても大変そうでした。だから、メダカのお世話をしている生き物係にへちまの水やりまでお願いするのはやめたほう  
がいいと思います。

④ 原田 わたしは太田さんの意見を聞いて、なるほどとなつとくしました。わたしは、最初、中村さんの意見に賛成<sup>さん</sup>でしたが、  
生き物係の仕事の大変さのことまでは考えていませんでした。そこで、自分の意見を変えて、へちまの水やりは日直が  
担当する<sup>ア</sup>といいと思います。

⑤ 森 ぼくは、朝早く来た人が、水やりをしたほうがいいと思います。

⑥ 司会 (内田) ここで、今まで出てきた意見を確かめてみます。議題は「学級園に植えたへちまの水やりをだれが担当するの<sup>ア</sup>か」でしたね。

今まで出た意見は、、、  
が担当する<sup>ア</sup>という意見でした。  
しかし、理由のない意見もあったので、ここで理由をたずねてみたいと思います。

( ) さん、( ) さん、理由を発表してください。

一 ③太田さんの意見の中の――線部Aには、自分の意見が相手に伝わりやすくするための工夫があります。それはどのような工夫ですか。1から4までの中から一つ選んで答えましょう。

- 1 学級の人みんなに聞き取りやすい声の大きさを発言している。
- 2 自分の考えをくり返すことで分かりやすく伝えている。
- 3 聞いていて、わからないことをていねいに質問している。
- 4 自分が今までに体験したことを例にあげながら発言している。

二 ⑥司会の内田さんが、出てきた意見を確かめた中で [ ] や ( ) にあてはまる言葉を書きましょう。

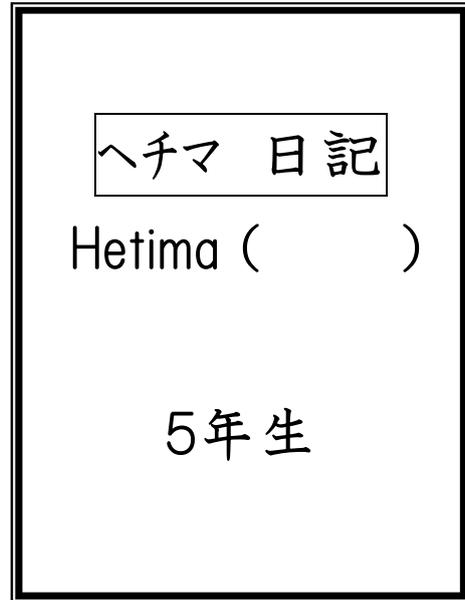
今まで出た意見は、 [ ] 、 [ ] が担当するという意見でした。  
しかし、理由のない意見もあったので、ここで理由をたずねてみたいと思います。  
( ) さん、 ( ) さん、理由を發表してください。

三 ⑥司会の内田さんの話し合いの進め方のよいところを、1から4までの中から二つ選んで番号で答えましょう。

- 1 發表された意見に対する自分の考えを言っている。
- 2 出てきた意見を整理してまとめようとしている。
- 3 發表した意見の理由について、説明をもとめている。
- 4 發言する人が増えるように時間をとっている。

四 学級会での話し合いの結果、日直が水やりをすることに決まり、ヘチマの成長を日記につけることにしました。内田さんは、日記の題名をローマ字で書くことにしました。

「日記<sup>にっき</sup>」という言葉<sup>ことば</sup>をローマ字（全部小文字）で書きましょう。



五

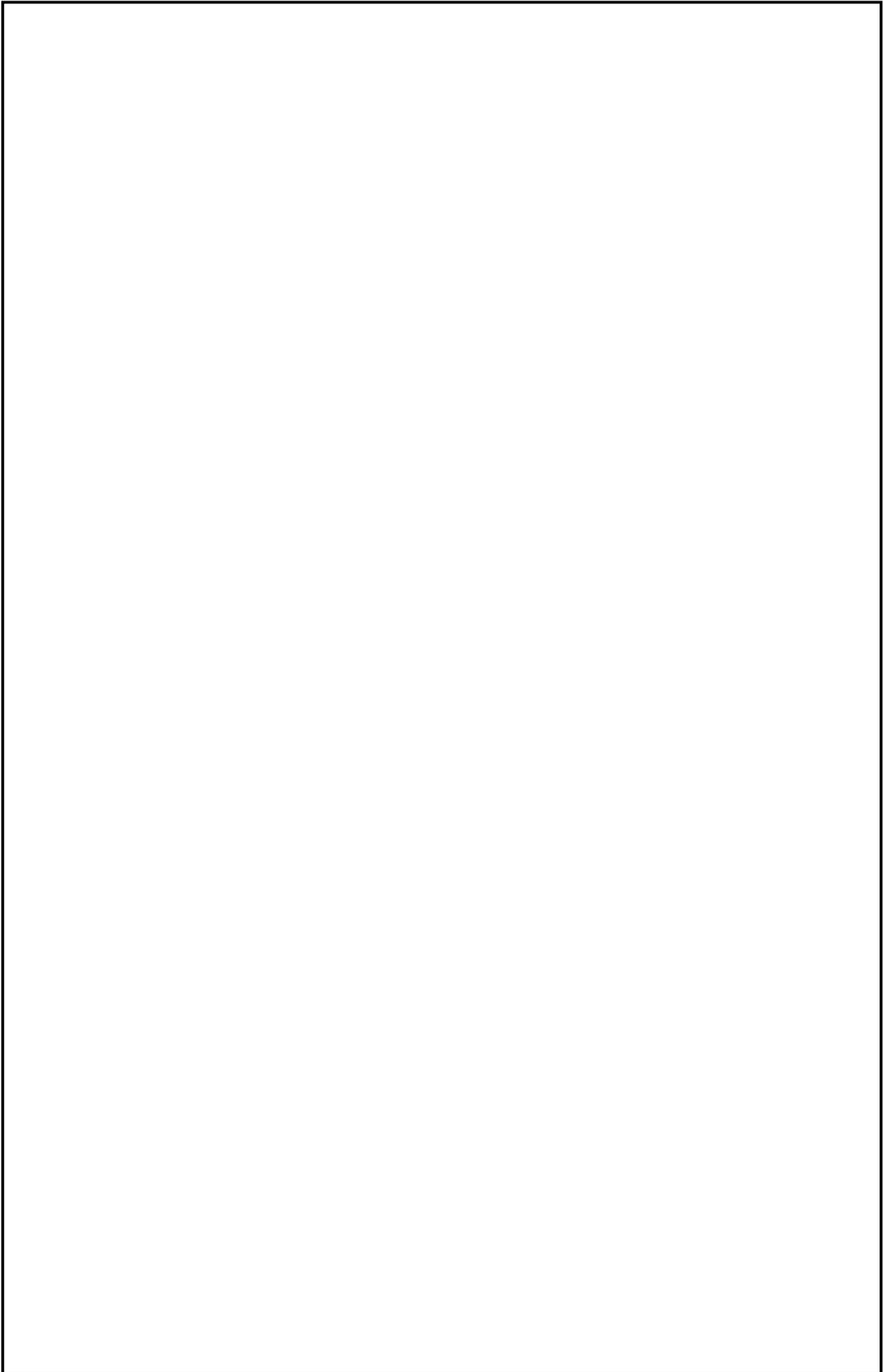
線部アの漢字の矢印の部分は何画目に書きますか。



このページに、問題はありませぬ。

内村さんのクラスでは、物語を読んで、好きな場面をしようかいし合う学習をしています。次の物語を読んで、あと  
の問いに答えましょう。

緒島 英二  
「海の光」による。



一 線部アと 線部イの文の主語にあたるものを、それぞれ一つずつ選んで、その記号を書きましょう。

ア おじいちゃんが、  
 1 2 3 4  
 じっと ぼくを 見た。

イ トマトの  
 1 2 3 4 5 6  
 根っこに、 ぼくたちは そつと 土を もった。

二 次の 線部AとDを読み、漢字の読みはひらがなで、ひらがなは漢字で書きましょう。

・貝拾い<sup>A</sup>      ・おもたい<sup>B</sup>      ・電灯<sup>C</sup>      ・びょう院<sup>D</sup>

三 線部ウの「目をまん丸にして」と同じような意味を表す言葉を次の1から4までの中から一つ選んで、その記号を書きましょう。

- 1 目を細めて
- 2 目を見はって
- 3 目をくぼって
- 4 目をつけて

四 内村さんは、好きな場面をしようかいするために、好きな場面とその理由を、次のようにまとめています。この場面は、本文中の  
 部分をもとめたものです。エの中に入る言葉を八字で書きましょう。

好きな場面	好きな理由
<p>あらしがおさまって、朝、畑に出ると、トマトがたおれそうになりながら、それでもちゃんと</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 10px auto; text-align: center; vertical-align: middle;">エ</div> <p style="text-align: center;">場面。</p>	<p>ふんばっているトマトを見て、        「トマトなんてどうでもいいよ。早くして。」        と言っていたふみやが、        「本当だ。あんなに強い風だったのに、よくがんばったね。」        とトマトにやさしい言葉をかけているところが心にのこったから。</p>

五 内村さんは、「登場人物」の気持ちの変化について、次のようにまとめています。【おわりの気持ち】をどのように書いたと考えられますか。 **オ** の中に入る内容を、次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

- 【はじめの気持ち】の書き方に合わせて、会話を引用して書くこと。
- 書き出しの言葉に続けて、三十字以上、六十字以内（句読点はふくむ）にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は、字数にふくまない。

【はじめの気持ち】（赤ちゃんが生まれる前）

おじいちゃんに「どうでもいいよ。赤んぼうなんて。」と言って、赤ちゃんが生まれることをすなおによるこべない気持ち。

【ふみやの気持ちが変わった出来事や様子】

夜光虫が光る様子やあらしの中でもふんばっていたトマトの様子から、どんな小さな命でも一生けん命に生きていて、どうでもいいものなんか、どこにも一つもないということに気づいたから。

【おわりの気持ち】

（弟の一才のたん生日）

生まれたばかりの小さな弟の手が、ぼくの指を力強くにぎってはなさない様子から、トマトと同じように一生けん命生きていることに気づいたから。

しがみついてきた弟に

オ

気持ち。

五島さんは、ごみしよ理場で見学したことを、学級の人みんなに伝えるために、新聞にまとめています。次の問いに答えましょう。

# 長崎県ごみ新聞

長崎小学校  
5年A組  
発行者  
五島花子

E

長崎県のごみは、平成六年から平成十年まではふえ続けていきましたが、その後は少しずつ減っています。

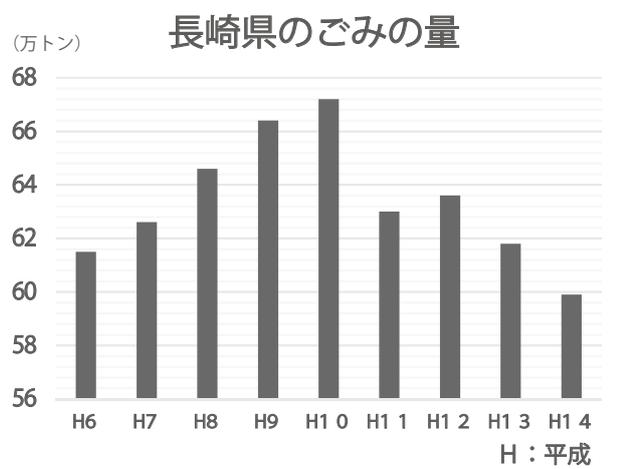
長崎県のごみは、へっではいるものの、現在、一年間に四十七万トンもごみが出ている。

このごみをしよ分するのに、一年間で二百五十億円もお金がかかっています。

ごみしよ理場では、集めたごみを、もえるごみともえないごみに分けてしよ理します。

もえるごみは約800度から900度の熱でもやします。ここでは二十四時間もやし続けます。

ごみをもやした後のはいは、しよ分場まで運び、うめ立てられます。



(長崎県のし料より)

このように、たくさんの手間をかけて、ごみはやっとして理されています。ごみをしよ理するのは、とても大変なのです。実際に、どのような大変さがあるのか、ごみしよ理場で働く人にインタビューしました。

## ごみしよ理場で働いている人にインタビュー

○ごみを分けている人

「私は、みなさんの家から出されたごみを手作業で種類別に分けています。われたガラスやスプレーかななどのきけんなものが入っていないか、気を付けながら、ごみをふくろの中から出します。時々けがをする人がいて、とてもきけんです。」

○ごみをもやしている人

「私は、集められたごみをもやしています。ごみは、一定の温度で二十四時間もやし続けなければなりません。そのために、職員が交代してもやす温度を管理しています。」

○もやしたごみを運ぶ人

「私は、ごみもえた後のはいをしよ分場に運んでいます。今のごみしよ分場は、もえた後のはいで、やがていっぱいになります。そうになると、次のしよ分場となる土地をさがさなければなりません。しよ分場になりそうな土地は、そうかんたんには、見つかりません。」

C

## わたしのてい案

D

一 五島さんは、――線部Aの一文が長いので、二文に分けて書いたほうがよいと考えました。文の意味を変えないように二文に分けたとき、の中に入る言葉を次の1から4までの中から一つ選んで番号を書きましよう。

A 長崎県のごみは、平成六年から平成十年まではふえ続けていました。、その後は少しずつへっています。

- 1 だから
- 2 しかし
- 3 つまり
- 4 もしも

二 五島さんは、――線部B「出ている。」を他の文とくらべて、書き直した方がよいことに気付きました。どのように書き直せばよいですか。五字で書きましよう。ただし、句点(。)は字数にふくみません。

三 五島さんは、Cの部分にグラフを入れようと考えました。ここにのせるグラフとしてふさわしいものを、次の1から4までの中から一つ選んで番号を書きましよう。

- 1 しよ分場の残りの量の変化
- 2 もえるごみの中身の変化
- 3 しよ分場の温度の変化
- 4 もえないごみの量の変化

四 五島さんは、Dの部分に「わたしのてい案」として、自分たちにできることを書くことにしました。どのように書いたらよいですか。次の〈条 件〉に合わせて書きましよう。

〈条 件〉・「ごみ出しのルールを守りましよう。」という書き出しに続けて、そのわけを、「ごみしよ理場で働いている人のインタビュー」の言葉をを使って書く。

五 五島さんは、Eに入れる大見出しを考えています。どのように書いたらよいですか。あとの1から4までのの中から、伝えたいことにもっとも合うもの一つを選んで、その番号を書きましよう。

- 1 ごみしよ理のしくみ
- 2 くふうしよ理サイクル
- 3 ごみはへっている
- 4 大変なごみのしよ理

これで、国語の問題は終わりです。





